

新春のごあいさつ



議長
小川 真和

皆さまには、お健やかに初春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

昨年は、4月に市議会議員選挙が行われ、市民の皆さまの負託と信頼に応えるべく、新たな市議会がスタートしました。

一方で、新型コロナウイルスの感染拡大が社会に不安を与え本市では、市民の皆さまの命と生活を守るため、必要な対策を果敢に打ち出し、全力で取り組んできたところであります。

厳しい社会経済情勢ではありますが、引き続き、市民の皆さまの声をしっかりと受け止め、議会の改革にも取り組む中で、一層の市民福祉の向上に力を尽くしてまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年12月定例会



令和2年12月定例会（11月30日～12月18日／会期19日間）の概要は次のとおりです。

30日 令和元年度の病院事業会計の決算認定並びに水道、工業用水道、下水道の各事業会計剰余金の処分及び決算認定について、企業会計決算特別委員長から議案の審査結果の報告があり、採決し、原案どおり可決および認定

令和元年度の一般会計と11の特別会計の歳入歳出決算認定について、一般・特別会計決算特別委員長から議案の審査結果の報告があり、採決し、12議案を認定

総務課長が1件の専決処分について報告
福山市一般職員の給与に関する条例等の一部改正案など2議案についてそれぞれ市長の提案

理由説明の後、委員会への付託（委員会での審査）を省略して採決し、原案どおり可決

市長が市政の状況と34議案の提案理由を説明
7日～10日 議案や市政全般について21人の議員が一般質問

10日質問終了後 市長が9件の追加議案の提案理由を説明

一般会計などの補正予算案12件は、予算特別委員会を設置して付託、それ以外の31議案は所管の常任委員会に付託

11日 4常任委員会でそれぞれ議案を審査

14日・15日 予算特別委員会で議案を審査

18日 議案を審査した4常任委員会と予算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり、それぞれの報告について採決し、43議案を原案どおり可決

一般会計補正予算案1件について市長の提案理由説明の後、委員会への付託を省略して採決し、原案どおり可決

人権擁護委員の候補者を推薦するにつき意見を求めることについて同意

議員提出の意見書案1件を可決

* 9月定例会に提案されたもので、詳細については前号（No.78）に掲載しています。

パーキンソン病患者をはじめ難病患者対策の推進を求める意見書

全会一致で可決した意見書を、内閣総理大臣などに提出しました。要旨は次のとおりです。

難病は治療法が確立していないため根治が難しく、患者は長期の療養を余儀なくされる。そのため、効果的な治療方法の確立や長期の療養に伴う患者の不安解消、医療費負担の軽減や社

会参加支援など、共生社会の実現に向けた取り組みが求められる。よって、政府において、治療法の研究などの推進、福祉サービスの提供、就労支援、パーキンソン病をはじめとする難病の専門医療の充実、難病に関する情報の普及啓発の推進などを実現するよう強く要望する。

表紙作品 作者からひとこと：福山のデニムをモチーフに作品制作しました。

男の子がデニムを着ている姿を見て、見とれたタイが思わず海から飛び出てきて「素敵だね！」とあいさつしました。